

Pioneer sound.vision.soul

S

スタートブック
START BOOK

入門
編

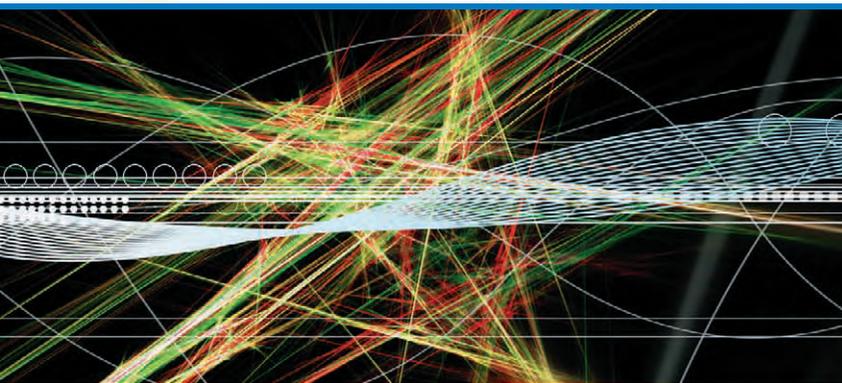
お使いになる前に

本機の基本操作

ナビゲーション

オーディオ

付録



HDD AVナビオートサーバー地上デジタルTVチューナーセット

AVIC-VH099MDG



MDLP

AVIC-VH099G

HDD AVナビオートサーバー

AVIC-VH099MD



MDLP

AVIC-VH099

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なおい気する・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】

モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

目次

本機をより楽しむために	8
ETC ユニット	8
地上デジタル TV チューナー	8
ワンセグチューナー	8
アナログ TV チューナー	8
iPod® 用アダプター	8
マルチ CD プレーヤー	8
携帯電話用 Bluetooth ユニット	8
携帯電話用接続ケーブル	8
RCA・バスインターコネクター	8
リアモニター	9
バックカメラユニット	9
VICS 用ビーコンユニット	9
ご使用前に知っておいていただきたいこと	10
安全走行のために	10
地図データについて	10
バッテリー上がりを防ぐために	10
バッテリーを外すときのご注意	10
画面が見えにくいときは	10
携帯電話をお使いになるときは	11
モニターの液晶画面を保護するために	11
低温時のハードディスクへの書き込みについて	11
著作権	11
ブレインユニットについて	11
バージョンアップについて	11
お客様の登録されたデータについて	12
セキュリティロック機能について	12
長時間録音された MD (MDLP) の再生について (AVIC-VH099MDG/VH099MD) ...	12
アフターサービス	12
パソコンリンクのご案内	12
その他	13
リセットについて	13
地上デジタル TV チューナーの準備 (AVIC-VH099MDG/VH099G) ...	14
B-CAS カードを入れる	14
はじめてお使いになるときの準備	14
リセットについて	15
リセットのしかた	15

本機の基本操作	16
各部の名称とおもな働き	16
ナビゲーション	16
ハイダウェイユニット	18
リモコン	18
ステアリングリモコン (音声認識コントローラー) / 音声認識用マイク	20
リモコンの使いかた	21
リモコンに電池をセットする	21
リモコンを向ける方向	21
ユニバーサルパッドの操作のしかた	22
ナビゲーションの電源について	23
モニターの自動開閉機能について	23
ブレインユニットの入れかた・取り出しかた	24
ブレインユニットの入れかた	24
ブレインユニットの取り出しかた	25
ブレインユニットを取り出した場合の制限事項	26
ブレインユニットを取り外したときの設定内容について	26
ディスクの入れかた・取り出しかた	26
ディスクの入れかた	26
ディスクの取り出しかた	26
メモリーデバイスの接続のしかた・取り外しかた	27
メモリーデバイスの接続のしかた	27
メモリーデバイスの取り外しかた	27
画面の操作	28
ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替える	28
画面を一時的に消す (スタンバイ機能について)	28
画面の角度を調整する	29
モニターを一時的に手前に倒す	29
モニターを開閉する	30
音量を調整する	30
リモコンで音量を調整する	30
音量を一時的に下げる	31
地図の見かたと操作	32
現在地画面を表示させる	32
現在地画面	32
昼間と夜間の色の違いについて	32
地図の動かしかた	33
スクロール画面	34

地図を広域・詳細にする.....	35
広域・詳細タッチキーで操作する場合.....	35
ダイレクトタッチキーで操作する場合.....	35
ビュー切り替えメニューを表示させる.....	36
ビューモードを切り替える.....	36
マップイコライザーを設定する.....	37
メニュー操作の基本.....	38
スタートメニューを表示させる.....	38
ショートカットメニューを表示させる.....	39
リスト操作.....	39
タブ操作.....	40
50音タブ付きリスト.....	40
サイドメニュー.....	40
ポップアップメニュー.....	40
自宅を登録しておこう.....	41
ルート.....	42
ルートを探索する.....	42
自宅へ帰る.....	43
ルート案内中の画面.....	44
オートリルートについて.....	45
ルートアドバイザーについて.....	45
ルート案内中の操作.....	46
次の案内地を確認する（ルートインフォメーション）.....	46
ルート上の渋滞情報を案内させる.....	46
ルートを消去する.....	47
音楽や映像を楽しむ.....	48
ソースを ON にする / ソースを切り替える.....	48
ソースを OFF にする.....	49
ソースを操作する.....	49
AV ソース選択画面でソースを切り替える.....	50
AV ソースの基本的な操作のしかた.....	50
AVメニューを表示させる.....	51
MSV(ミュージックサーバー)について.....	52
MSV のおもな機能.....	52
MSV に録音する.....	52

取扱上のご注意	53
液晶画面の正しい使いかた	53
取り扱い上のご注意	53
液晶画面について	53
小型蛍光管について	53
お手入れについて	53
ディスクの正しい使いかた	54
取り扱い上のご注意	54
お手入れについて	54
保管上のご注意	54
ディスク再生の環境について	55
ブレイクユニットの正しい使いかた	55
取り扱い上のご注意	55
保管上のご注意	56
動作環境について	56
B-CAS カードの正しい使いかた	56
B-CAS カードの取り扱いについて	56
故障かな？と思ったら	57
共通項目	57
ナビゲーション	58
DVD	59
CD、ROM(WMA/MP3/AAC/DivX)	59
DTV	59
ワンセグ	60
TV	61
保証書とアフターサービス	62
保証書.....	62
保証期間.....	62
保証期間中の修理について.....	62
保証期間経過後の修理について	62
補修用性能部品の最低保有期間	62
ご質問、ご相談は	62
仕様	63

本機をより楽しむために

本機には、下記のオプション類が組み合わせられます。



・下記の型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ETC ユニット

別売の ETC ユニット「ND-ETC5」または「ND-ETC4」または「ND-ETC3」を接続すると、有料道路の料金所をノンストップで通過できます。また、ETC カードに記録されている利用履歴や ETC ユニットの車載機管理番号を本機の画面で確認することができます。

地上デジタル TV チューナー (AVIC-VH099MDG/VH099G を除く)

別売の地上デジタル TV チューナー「GEX-P09DTV」または「GEX-P07DTV」または「GEX-P9DTV」を接続すると、地上デジタルテレビジョン放送を受信することができます。全ての操作は本機から行えます。

ワンセグチューナー

別売のワンセグチューナー「GEX-P01DTV」を接続すると、ワンセグ放送を受信することができます。全ての操作は本機から行えます。

アナログ TV チューナー

別売のアナログ TV チューナー「GEX-P03TV」を接続すると、アナログ TV 放送を受信することができます。全ての操作は本機から行えます。

iPod® 用アダプター

別売の iPod® 用アダプター「CD-IB10 II」または「CD-IB10」を使用すると、本機に iPod® を接続して連続再生することができます。本機では、曲名など音楽データの表示、プレイリストの選択、ジャンル/アーティスト/アルバムによる楽曲の絞込みなどの操作が可能です。

マルチ CD プレーヤー

別売のマルチ CD プレーヤー「CDX-P シリーズ」を接続すると、複数の CD をセットして連続再生することができます。全ての操作は本機から行えます。

携帯電話用 Bluetooth ユニット

別売の携帯電話用 Bluetooth ユニット「ND-BT1」を接続すると、Bluetooth に対応した携帯電話で、ケーブル接続無しで本機の通信機能や携帯電話機能を使うことができます。

携帯電話用接続ケーブル

別売の携帯電話接続ケーブルで携帯電話を接続すると、本機の通信機能や携帯電話機能を使うことができます。

- ・PDC 用ケーブル (2m) : 「CD-H13」
- ・CDMA 1X/cdmaOne 用ケーブル (4m) : 「CD-H14」
- ・FOMA 用ケーブル (2m) : 「CD-H15」
- ・CDMA 1X WIN 用ケーブル (2m) : 「CD-H16」

RCA・バスインターコネクター

別売の RCA・バスインターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用すると、RCA 出力の外部機器の音声を本機に AUX 入力することができます。

リアモニター

別売の液晶 TV モニター「TVM-W シリーズ」を接続すると、走行中でも後席の同乗者は DVD ビデオや TV などを楽しむことができます。

バックカメラユニット

別売のバックカメラユニット「ND-BC シリーズ」を接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。

VICS 用ビーコンユニット

別売の VICS 用ビーコンユニット「ND-B6」または「ND-B5」を接続すると、渋滞を考慮したルート探索やルートアドバイザー、ビーコン情報の即時表示などが可能になります。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーション操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本製品には交通規制データが収録されていますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急を要する施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外するときの注意

点検等でバッテリーを外すと、セキュリティロックが有効になっている場合は、起動時にパスワードの入力が必要になります。また、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- 自車方位
 - 画質調整
 - 画面角度調整
 - オーディオ設定 / システム設定の設定内容
 - ラジオ、交通情報のプリセット内容
 - 各ソースの再生モード
- など

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調節してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調節してください。→『オーディオブック』

携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

モニターの液晶画面を保護するために

- 本機を使用しないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。
 - 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから付属のクリーニングクロスでから拭きしてください。
- 「液晶画面の正しい使いかた」(P53)

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（登録地）、登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

ブレインユニットについて

ブレインユニットはご購入いただきました製品以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

バージョンアップについて

- 本機のバージョンアップは、ブレインユニットをお預かりして有償にてデータの書き換えをさせていただく方式と、ブレインユニットをリビングキットに装着しブロードバンド接続することにより有償にてデータを書き換える方法の2通りを予定しております。また、書き換える際には、お客様がご自身で本機に登録された情報内容については、配送中の衝撃などにより消去される可能性があるため情報内容の保証は致しかねます。予めご了承ください。登録地データに関してはメモリーデバイスをご利用いただくことにより、保管していただくことができます。本機のバージョンアップの詳細については、弊社ホームページにてご案内させていただく予定です。また、本機ご購入後に登録手続きをいただいたお客様に対してもご案内させていただく予定です（ご案内の送付に同意いただいた方のみ）。本機に同梱されている「お客様登録カード」のご返送またはインターネットからのご登録をお願い致します。
- ハードディスク（ブレインユニット）のお預かりによる書き換え作業は7日間程度を予定しておりますが、一時的に書き換え数量が集中した場合などは、7日間を超える場合があります。ハードディスク（ブレインユニット）のお預かりによる書き換え作業中は、ナビゲーションおよび一部のオーディオ機器が使用できません。（→P26）

お客様の登録されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- 本機の地図ディスク更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。
- ミュージックサーバーに録音された音楽情報については著作権法上バックアップを行うことはできませんのでご了承ください。
- ブレインユニットを修理に出される際は、転送可能回数に制限のある曲を「BeatJam」を使用してパソコンにチェックイン（戻）してから修理に出して頂きますようお願いいたします。修理内容によっては「BeatJam」で転送した楽曲が再生できなくなる場合があります。

セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時は、セキュリティロック機能は動作していません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。→『ナビゲーションブック』-「通信」-「LIVE・COM」-「セキュリティロック」

長時間録音されたMD (MDLP) の再生について (AVIC-VH099MDG/VH099MD)

- 本機はMDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。
- MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは「お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、お近くの弊社サービスステーションへご相談ください。

パソコンリンクのご案内

リビングキットとパソコンとを市販のUSBケーブルで接続し、無料のパソコン用ソフト「NAVI * STUDIO Ver2.1」をパソコンにインストールしてご利用いただくことで、WMA/MP3の楽曲のリビングキットへの転送、転送するプレイリストへの画像付加、登録地点の追加・編集、オープニング画像の変更、車の燃費管理等ができます。「NAVI * STUDIO Ver2.1」の入手方法や機能の詳細などについては、弊社ホームページ (<http://carrozzeria.jp/cybernavi/>) でご案内しております。

その他

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

リセットについて

次のようなときは、リセットボタン（→P16、17）を押して本機をリセットしてください。

- ・本機を車に取り付けた直後
- ・正しく動作しないとき
- ・画面が正しく表示されないとき

また、本機をリセットすると、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- ・オーディオ設定 / システム設定の設定内容
- ・画質調整
- ・画面角度調整
- ・ラジオ、交通情報のプリセット内容
- ・各ソースの再生モードやラスト再生ポジションなど



指のケガに
注意

- ・本機は、オーディオ部のリセットボタンを押すとモニターが一旦収納し再度立ち上がります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。



- ・本機のリセットボタンを押しても、セキュリティロックや登録地点、ルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されません。
- ・リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源がOFF/ONすることがありますが、故障ではありません。

地上デジタルTVチューナーの準備

(AVIC-VH099MDG/VH099G)

B-CAS カードを入れる

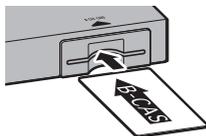
地上デジタル放送では、B-CAS カードがないと放送を視聴できません。視聴中は、必ず付属のB-CAS カードを地上デジタルTVチューナーに挿入してください。

お
使
い
に
な
る
前
に

1 エンジンスイッチをOFF (ACCをOFF) にする



2 B-CAS カードを挿し込む



- B-CAS カードの台紙には登録ハガキが付いています。台紙に書かれた説明をよくお読みになり、B-CAS カードのユーザー登録をしてください（登録無料）。
- 付属のB-CAS カードは、地上デジタル放送専用です。地上・BS・110度CSデジタル放送の共用受信機器には使わないでください。
- B-CAS カードには、有料チャンネルの契約情報などが記録されますが、契約した方の個人情報（住所・氏名など）は書き込まれません。
- デジタル放送では、番組の著作権保護のためコピー制御信号を送信しています。B-CAS カードは、この制御信号を有効にするために利用されます。
- B-CAS カードを盗難・紛失したときは、B-CAS カードのカスタマーセンター(TEL: 0570-000250) へ連絡してください。
- 盗難防止のため、車から離れるときはB-CAS カードを本機から抜いて車内に残さないようにすることをおすすめします。

はじめてお使いになるときの準備

ご購入後、初めて地上デジタルTVチューナーをお使いになるときは、チャンネルスキャンが必要です。



- チャンネルスキャンとは、受信可能なチャンネルを探して地上デジタルTVチューナーに登録する機能です。
- チャンネルスキャンは、地上デジタルテレビ放送の電波を受信しやすい場所で行ってください。
- 車のバッテリーを外したときや、地上デジタルTVチューナーの設定をクリア（視聴者設定クリア）したとき、地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押した時にもチャンネルスキャンが必要です。

1 車のエンジンをかける

2 地図画面が表示されたら、**NAVI/AV** を押す (→ P28)



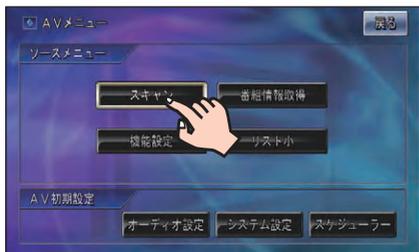
AV ソース画面が表示されます。



3 [SRC] を何回か押して、ソースを「DTV」にする



4 [メニュー] を押し、スクリーンに2秒以上タッチする



チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面が表示されます。

5 [SRC] を1秒以上押して、ソースをOFFにする

6 [NAVI/AV] を押して、地図画面を表示する

リセットについて

次のようなときは、地上デジタルTVチューナーをリセットしてください。

- ・接続が終わったとき
- ・正しく動作しないとき



- ・地上デジタルTVチューナーをリセットすると、地上デジタルTVチューナーに登録されているチャンネルの内容が消去されますので、ご使用前にチャンネルスキャン(→前記)を行ってください。
- ・地上デジタルTVチューナーをリセットしても、機能設定の情報は変更されません。機能設定の情報を消去したいときは、視聴者設定クリアを行ってください。→『オーディオブック』

お使いになる前に

リセットのしかた

1 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

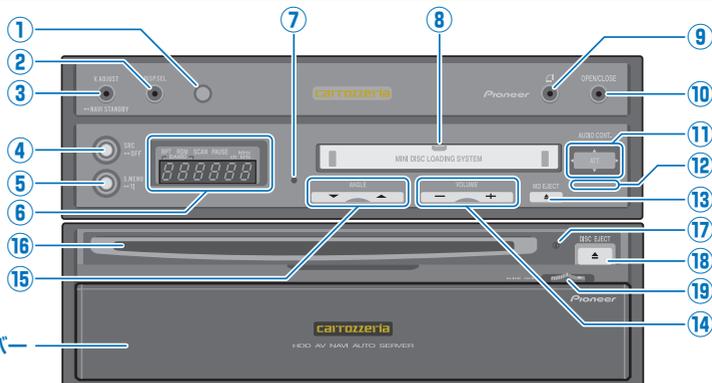
本機の基本操作

各部の名称とおもな働き

ナビゲーション本体、リモコン、ステアリングリモコン、マイクの各部の名称と働きを説明します。

ナビゲーション

閉じている状態
(例：AVIC-VH099MD)



プレーンユニットカバー

① 外光センサー

周囲の明るさを感じます。

② DISP SEL ボタン

画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときに使います。

③ V.ADJUST ボタン

画面の画質を調節します。長く押すとナビゲーションをスタンバイ(待機)状態にします。

④ SRC ボタン

ソースを切り替えます。1秒以上押すとAVソースをOFFにします。

⑤ S.MENU (ソースメニュー) ボタン

AVソース選択画面(→P50)を表示します。長く押すと交通情報を受信します。

⑥ サブディスプレイ

AVソースの動作状態(受信中の周波数など)が表示されます。システム設定により、時計を表示させることもできます。→「オーディオブック」

⑦ リセットボタン(オーディオ部)

オーディオのマイコンをリセットするときに使います。

⑧ MD 挿入口 (AVIC-VH099MD/VH099MDG)

MDを挿入します。

⑨ 一時可倒ボタン

モニターを一時的に水平にします。

⑩ OPEN/CLOSE ボタン

モニターを開閉します。



- 本機を使用していないときは、画面を閉じた状態にしてください。
- 画面の角度調整や開閉を手動で行ったりしないでください。画面に強い力が加わると故障することがあります。
- 画面の角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。

⑪ オーディオコントローラー/ATT ボタン

曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使います。ボタンを押すと音量が約1/10になります。

⑫ リモコン受光部

リモコンをここにに向けて操作します。

⑬ MD EJECT ボタン (AVIC-VH099MD/VH099MDG)

MDを取り出すときに使います。

⑭ **VOLUME ボタン**

車のスピーカーから出力される AV ソースの音量を調整できます。



・ナビゲーションの案内音声、操作音、電話の受話音および着信音は、このボタンでは調整できません。これらの音量は、ナビゲーションの音量調整メニューで行います。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音量を調整する」をご覧ください。

⑮ **ANGLE ボタン**

モニターの角度を調節します。

⑯ **ディスク挿入口**

DVD や CD などを挿入します。

⑰ **リセットボタン (ナビ部)**

ナビゲーションのマイコンをリセットするときに使います。

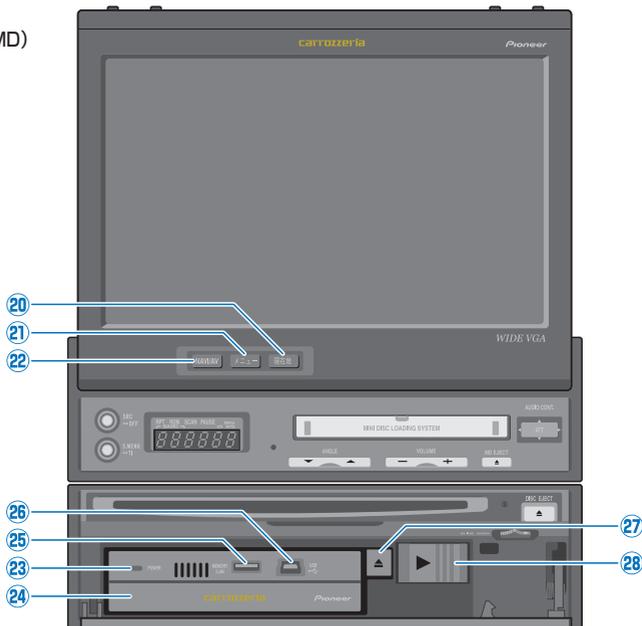
⑱ **DISC EJECT (取り出し) ボタン**

DVD や CD などを取り出すときに使います。

⑲ **OPEN レバー**

ブレインユニットカバーを開くときに使います。

開いている状態
(例：AVIC-VH099MD)



⑳ **現在地ボタン**

ナビゲーションの現在地表示に切り替えます。

㉑ **メニューボタン**

ナビゲーション画面時は、スタートメニューを表示します。AV ソース画面時は、各ソースの AV メニューを表示します。

㉒ **NAVI/AV ボタン**

ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替えます。

㉓ **ブレインユニット POWER ランプ**

ブレインユニットの取り出しが可能か知らせます。

㉔ **ブレインユニット**

㉕ **拡張用端子 A (メモリー/LAN 用 USB2.0 相当)**

付属の変換ケーブルを使って、メモリーデバイスを接続します。

㉖ **拡張用端子 B (パソコン用 USB2.0 相当)**

リビングキット使用時に、市販のミニ USB ケーブルを接続します。→『リビングキット取扱書』

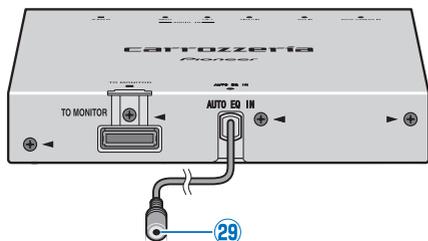
㉗ **ブレインユニット取り出しボタン**

ブレインユニットを取り出すときに使います。

㉘ **ブレインユニットロックレバー**

ブレインユニットを取り出すときに右にスライドさせます。

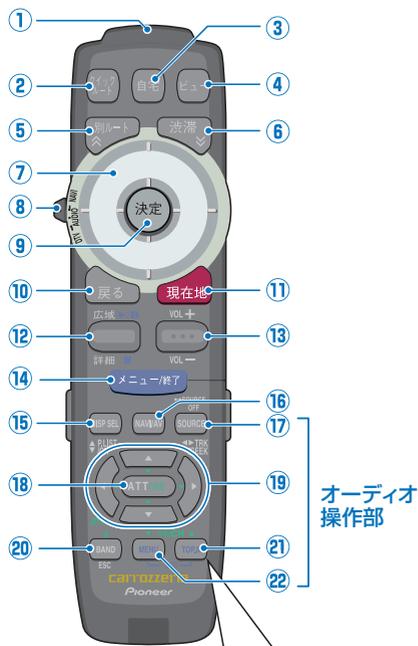
ハイダウェイユニット



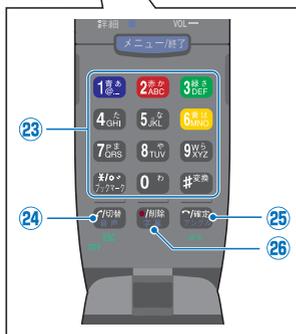
⑳ 音響特性測定用マイク挿入口

AUTO TA&EQ の測定をするときに、付属の音響特性測定用マイクを挿入します。

リモコン



オーディオ
操作部



① リモコン送信部

ここからリモコンの信号が送られます。

② クイックルートボタン

クイックルート探索するときに使います。

③ 自宅ボタン

自宅を登録するときに使います。
すでに自宅が登録されているときは、自宅までのルートを探します。

④ ビューボタン

ナビゲーション画面のときは、地図表示のビュー切り替えメニューを表示します。長く押し続けると地図設定メニューを表示します。サイドマップ付きのリスト画面表示時は、地図と詳細情報の表示を切り替えます。AV ソース画面のときは、ソースプレートやリストの表示 / 非表示を切り替えます。

⑤ 別ルートボタン

すでに設定されているルートとは別のルートを探させるときに使います。リスト画面では、リストをページ送りします。

⑥ 渋滞ボタン

渋滞情報などの交通情報を見たいときに使います。リスト画面では、リストをページ送りします。

⑦ ユニバーサルパッド

地図の移動や項目の選択などに使います。

⑧ 操作モード切り替えスイッチ

リモコンで操作するモードを切り替えます。
NAVI : NAVI 操作モード
AUDIO : AUDIO 操作モード
DTV : DTV 操作モード



リモコンは、操作モードによって機能が色分け表現されています。

NAVIモード時の機能	: 白	切替
AUDIOモード時の機能	: 青	音戸
DTVモード時の機能	: 緑	DTV

DTV操作モードは、地上デジタルTVチューナー「GEX-P7DTV」ではお使いになれません。

⑨ 決定ボタン

項目の決定などに使います。
地図画面ではショートカットメニューを表示します。

⑩ 戻るボタン

1つ前の画面に戻るときに使います。

⑪ 現在地ボタン

ナビゲーションの現在地表示に切り替えます。

⑫ スケールレバー

NAVI/DTV操作モード時は、地図のスケールが変わります。

AUDIO操作モード時は、DVD/DivXの一時停止/再生や停止の動作をします。

⑬ ボリュームレバー

NAVI操作モード時は、ナビゲーションの案内音量が調整できます。

AUDIO/DTV操作モード時は、オーディオの音量が調整できます。

⑭ メニューボタン

ナビゲーション画面のときは、スタートメニューを表示します。

AVソース画面のときは、AVメニューを表示します。

⑮ DISP SEL ボタン

画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときに使います。

⑯ NAVI/AV ボタン

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り替えます。

⑰ SOURCE ボタン

ソースを切り替えるときに使います。
1秒以上押しとソースをOFFにします。

⑱ ATT ボタン

音量が約1/10になります。
DTV操作モードの時は、データ放送や番組表などの項目を決定します。

⑲ ▲/▼/◀/▶ ボタン

曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使います。
DTV操作モードの時は、データ放送や番組表などのカーソルを操作します。

⑳ BAND/ESC ボタン

NAVI/AUDIO操作モード時は、テレビやラジオのバンドを切り替えます。

DTV操作モード時は、データ放送に切り替わります。

㉑ TOP.M(DVD) ボタン

AUDIO操作モード時は、DVDの最上位のメニューを表示します。

DTV操作モード時は、3桁チャンネルをアップします。

㉒ MENU(DVD) ボタン

AUDIO操作モード時は、DVDのディスクメニューを表示します。

DTV操作モード時は、3桁チャンネルをダウンします。

㉓ 10 キー

ナビゲーションの電話番号検索、携帯電話操作、文字入力などに使います。

DTV操作モード時は、青/赤/緑/黄ボタンの働きをします。

㉔ オフフック / 切替ボタン

電話をかけるときや受けるとき、文字種を切り替えるときに使います。

AUDIO操作モード時は、DVD/DivXの音声言語を切り替えることができます。

DTV操作モード時は、操作を中止(キャンセル)します。

㉕ オンフック / 確定ボタン

電話を切るときや応答保留するとき、入力した文字の確定に使います。

AUDIO操作モード時は、DVDのアングルを切り替えることができます。

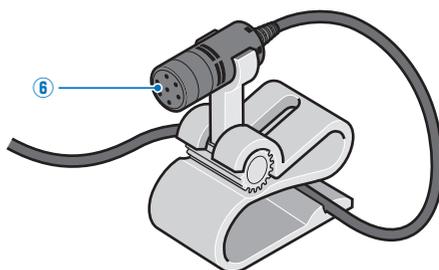
DTV操作モード時は、1つ前の操作に戻ります。

㉖ 録音 / 削除ボタン

現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了したり、入力した文字を削除するときに使います。

AUDIO操作時は、DVD/DivXの字幕言語を切り替えることができます。

ステアリングリモコン (音声認識コントローラー) / 音声認識用マイク



① 訂正ボタン

音声での操作中に、直前の操作を取り消します。

電話着信時に応答保留できます。

ルートアドバイザーの操作ができます。

VICS ビーコン割り込みが解除できます。

② ▲/▼/◀/▶ ボタン

曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使います。

③ VOLUME ボタン

AV ソースの音量を調整します。

④ 発話ボタン

音声操作を開始します。ボタンを押してからマイクに向かって発話します。

電話を受けるまたは切ることができます。ルートアドバイザーの操作ができます。

⑤ SOURCE ボタン

ソースを切り替えるときに使います。

1 秒以上押しとソースを OFF にします。

⑥ 音声認識用マイク

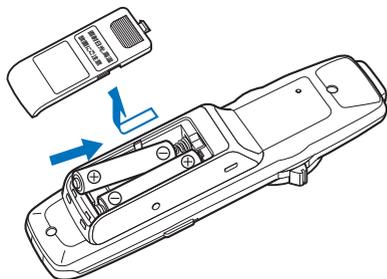
音声操作やハンズフリー通話をするときは、このマイクに向かって話します。

リモコンの使いかた

リモコンに電池をセットする

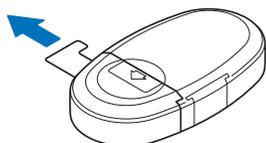
リモコン

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



ステアリングリモコン

電池はあらかじめセットされています。裏側より、透明の保護フィルムを引き抜くと使えるようになります。



- 電池の交換が必要なときは、裏ボタンをはずして、リチウム電池（CR2032）の（+）側を上にしてセットします。



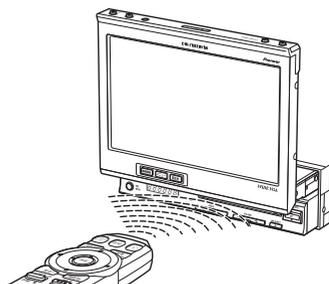
- リモコンやステアリングリモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。



- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンやステアリングリモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたり、地図のスクロール速度や反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池などのご使用をおすすめします。

本機の基本操作

リモコンを向ける方向



リモコンの先端（送信部）受光部に向けて操作します。



- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。



- 受光部に直射日光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコンを操作してください。

ユニバーサルパッドの操作のしかた

本書で「ユニバーサルパッドを右側に操作する」と表記されているときは、ユニバーサルパッドの右側に触れます。「項目を選ぶ」と表記されているときは、ユニバーサルパッドに触れ項目を選択して**決定**を押します。



ユニバーサルパッドに触れ項目を選択する。



決定を押す。

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチを ON にすると自動的に入り、エンジンスイッチを OFF にすると電源も切れます。



- 本機は、エンジンスイッチを OFF (本機の電源を OFF) にするとモニターが自動的に収納されます。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。



- ナビゲーションの電源スイッチはありません。

モニターの自動開閉機能について

モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。

車のエンジンスイッチを ON (本機の電源を ON) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチを OFF (本機の電源を OFF) にすると、OFF にしてから約 6 秒後にモニターが本体に収納されます。



- 自動開閉機能を、手動 (マニュアル) に設定できます。→「オーディオブック」
「オートフラップ設定」
手動 (マニュアル) に設定した場合は、モニターは自動で立ち上がりません。
OPEN/CLOSE を押して、立ち上げてください。
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチを OFF (本機の電源を OFF) にしたときは、再びエンジンスイッチを ON にしても、モニターは立ち上がりません。**OPEN/CLOSE** を押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、モニターの角度を調節してください。→「画面の角度を調節する」(P29)
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます (セットバック)。→「オーディオブック」
「オートフラップ設定」

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

ブレインユニットにはカーナビの心臓部であるカーコンピューターとハードディスクが搭載されています。まず、ナビゲーション本体にブレインユニットを取り付けてご使用ください。

ブレインユニットをナビゲーション本体から取り外し、付属のリビングキットで使用すれば、部屋でナビゲーション機能やミュージックサーバーなどを楽しむことができます。→『オーディオブック』

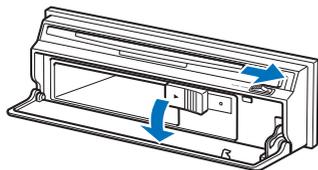
本機の基本操作



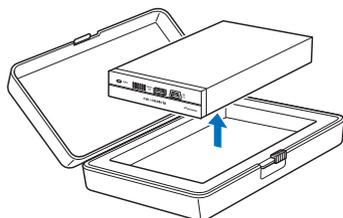
- ブレインユニットに USB メモリやケーブルなどを挿入したまま持ち運ぶと、端子や本体を破損する恐れがあります。
- ブレインユニットを持ち運ぶときは必ず専用のキャリングケースに入れてください。落下や衝撃によりブレインユニットが破損する恐れがあります。
- 急激な温度変化を与えると、結露が生じ、異常の原因となります。自然に結露の状態がなくなるまで使用しないでください。

ブレインユニットの入れかた

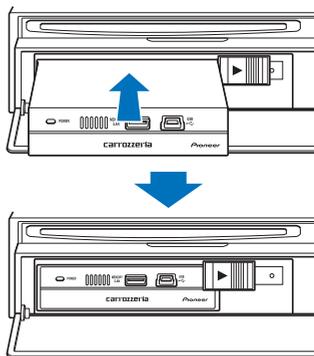
1 OPEN レバーをスライドし、ブレインユニットカバーを開く



2 キャリングケースからブレインユニットを取り出す

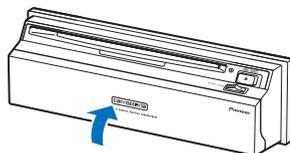


3 ブレインユニットをカチッと音がするまで差し込む



- ブレインユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから差し込んでください。

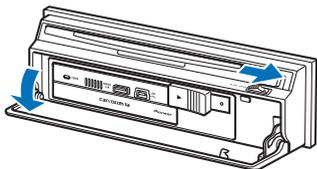
4 ブレインユニットカバーを閉じる



- ブレインユニットが奥まで差し込まれていることを確認してから、カバーを閉じてください。

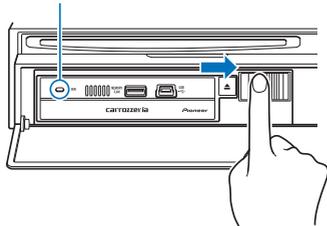
ブレインユニットの取り出しかた

1 OPENレバーをスライドし、ブレインユニットカバーを開く



2 ブレインユニットロックレバーをスライドしたまま、ブレインユニット POWERランプが消灯するのを確認する

ブレインユニットPOWERランプ

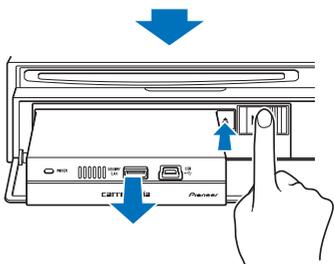
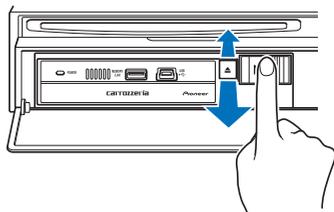


エンジンスイッチが ON（本機の電源が ON）の状態ではブレインユニットロックレバーをスライドすると、ブレインユニット前面のブレインユニット POWERランプが点滅を始めていきます。点滅が終了し、ランプが消灯したらブレインユニットを取り出すことができます。



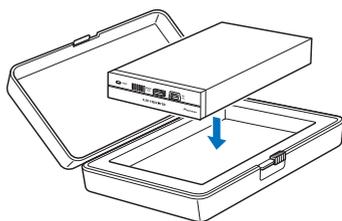
- エンジンスイッチが OFF の場合は、POWERランプが消灯していることを確認してから手順3へ進みます。

3 ブレインユニットロックレバーをスライドしたまま、ブレインユニット取り出しボタンを押し、ボタンが出てきたらもう一度押し込む

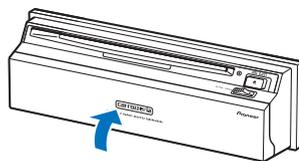


- 取り出しの際、ブレインユニットの落下や衝撃にご注意ください。
- ブレインユニット取り出しボタンは、最後まで確実に押し込んでください。

4 キャリングケースにブレインユニットを入れる



5 ブレインユニットカバーを閉じる



- ブレインユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、カバーを閉じてください。

ブレインユニットを取り出した場合の制限事項

次の機能が使用できなくなります。

機能	制限されること
タッチ	一部の操作ができません。
ナビゲーション DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC/DivX) ミュージックサーバー	操作ができません。
音声認識	
ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー	2画面表示
携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> ハンズフリー通話 データ通信

ブレインユニットを取り外したときの設定内容について

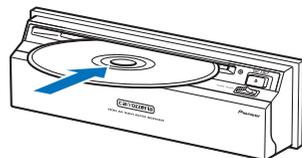
次の設定は、ブレインユニットを取り出す前の内容を記憶しています。

- システム設定
- オーディオ設定
- 画質設定

ディスクの入れかた・取り出しかた

ディスクの入れかた

1 ディスク挿入口にディスクを差し込む



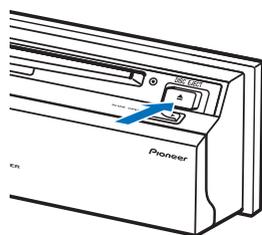
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。



- 8cm ディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

ディスクの取り出しかた

1 [DISC EJECT] ボタンを押す



ディスクが自動的に押し出されます。

2 ディスクを取り出す

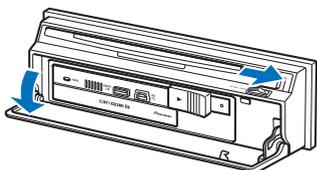
メモリーデバイスの接続のしかた・取り外しかた



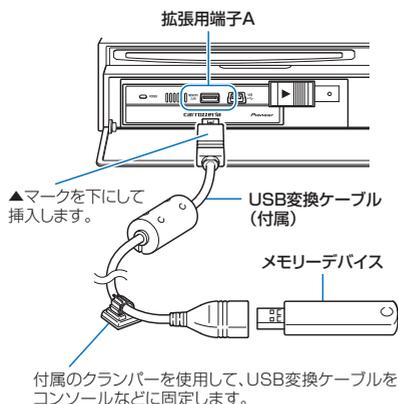
- 本機は、USB フラッシュメモリーまたは USB ハードディスク（以下メモリーデバイス）が使用可能です。
- メモリーデバイスのライトプロテクト機能やセキュリティ機能は解除してから接続してください。
- 本機はソフトウェアによるライトプロテクト機能には対応していません。そのようなデータも上書き消去される可能性があります。
- 走行中はメモリーデバイスを接続しないでください。

メモリーデバイスの接続のしかた

1 OPENレバーをスライドする



2 拡張用端子 A (メモリー / LAN 用 USB2.0 相当) にメモリーデバイス変換ケーブルを差し込む



メモリーデバイスの取り外しかた

1 **メニュー** を押し、**編集・設定** にタッチする

2 **メモリーデバイス取り外し** にタッチする



メモリーデバイスを取り外せる状態になります。



- ショートカットメニュー (→P39) の **10 キーカスタマイズ** **メモリーデバイス取り外し** にタッチするか、リモコンの **7 (PAGES)** を押してもメモリーデバイスを取り外せる状態になります。

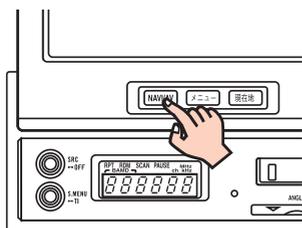
3 メモリーデバイスまたはケーブルを取り外し、ブレイクユニットカバーを閉めます

画面の操作

ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替える

ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替えることができます。

1 NAVI/AV を押す



押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面

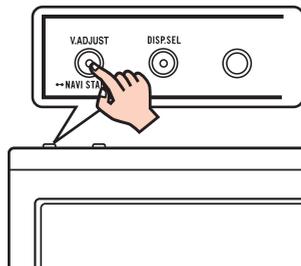


AV ソース画面



画面を一時的に消す (スタンバイ機能について)

1 V.ADJUST を長く押す



画面が一時的に消えます。

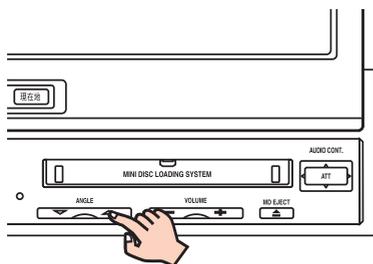


- 以下のボタンを押すか、画面にタッチすると、画面が表示されます。
 - **V.ADJUST**
 - **NAVI/AV**
 - **メニュー**
 - **現在地**
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。

画面の角度を調整する

エンジンスイッチを ON（本機の電源を ON）にすると、モニターは自動で立ち上がります。立ち上がったモニターは、見やすいように角度を調節してください。

1 ANGLE (▲ / ▼) を押す



▲：上向きにする

▼：下向きにする

! 角度の調節は手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

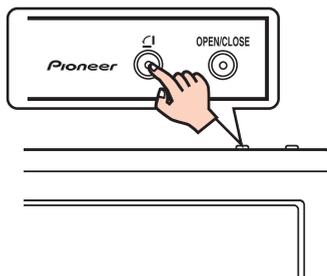


角度調節したモニターを次に立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

モニターを一時的に手前に倒す

立ち上がったモニターで、エアコンなどのスイッチが隠れてしまった場合、モニターを一時的に手前に倒すことでスイッチが操作できます。

1 (一時可倒) ボタンを押す

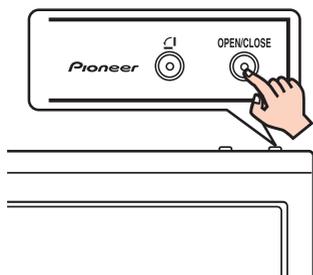


モニターが手前に倒れ、約 10 秒後に自動的に元に戻ります。

モニターを開閉する

一時的にモニターを収納したいときや、モニターの自動開閉を「マニュアル」に設定(→『オーディオブック』)している場合など、モニターの開閉操作をします。

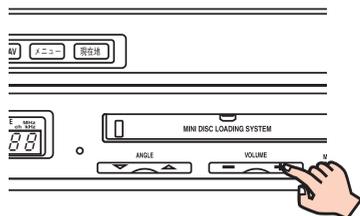
1 OPEN/CLOSE を押す



本機の基本操作

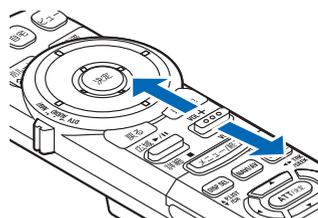
音量を調整する

1 ボリュームボタン (+/-) を押して調整する



リモコンで音量を調整する

1 ボリュームレバー (VOL+ / VOL-) を倒して調整する



リモコンの操作モード

NAVI	ナビゲーションの案内音量を調整できます。
AUDIO または DTV	オーディオの音量を調整できます。

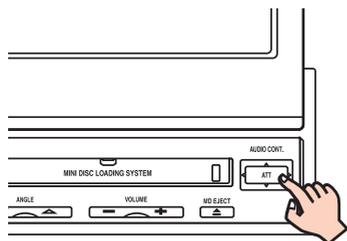
- 
 ・車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。
- 
 ・タッチキーの操作確認音などの音量は、**メニュー** を押し、**編集・設定** - **音量設定** にタッチして調整することができます。→『ナビゲーションブック』

音量を一時的に下げる

車内の会話が聞き取りにくいときなど、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 **ATT** を押す

アッテネーター機能が働き、音量が約1/10になります。もう一度押すと、アッテネーター機能を解除します。



地図の見かたと操作

現在地画面を表示させる

動作中の本機の画面表示にかかわらず、**現在地**を押すと、現在地画面を表示することができます。

現在地画面

方位表示

赤い三角が北方方向を示します。

スケール表示

下のがスケールの距離を示します(2D表示のみ)。

VICS レベル 3 情報提供時刻表示



現在の時刻

現在地の地名

自転車位置周辺の地名を示します。

自転車マーク

車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなる場合があります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り替えを車のスモール灯の ON/OFF と連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。

昼画面



夜画面



本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

地図の動かし方

地図を動かすには、地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチして地図をスクロールします。

1 地図上の見たい場所にタッチする



十字カーソルと**微調整**が表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



- **微調整**は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

2 微調整にタッチする



3 表示を微調整する

矢印にタッチすることにより、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



- ユニバーサルパッドを操作してスクロールすることもできます。
- もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。
- 微調整中でもユニバーサルパッドでのスクロールは通常通りにスクロールします。
- 走行中はユニバーサルパッドでのスクロールでは半画面分スクロールします。
- **現在地**を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

スクロール画面

スクロール中

スクロール方面表示

地図のスケールを、10m ~ 1km スケールにしている場合に表示されます。



スクロール停止

現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結んだ線。

十字カーソル
画面の中心に表示
されます。



十字カーソル位置の地名

十字カーソル位置周辺の地名を示します。

現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

地図を広域・詳細にする

10m～500kmの範囲で地図のスケールを変更することができます。

広域・詳細タッチキーで操作する場合

1 スケール表示にタッチする



2 広域または詳細にタッチする



広域	地図をより広く見たいとき
詳細	地図をより詳しく見たいとき

スケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。タッチキーにタッチするごとに、スケールが変わります。



- ・リモコンの**広域**・**詳細**を使って操作することもできます。
- ・タッチキーにタッチし続けると、スケールは段階的に変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

ダイレクトタッチキーで操作する場合

1 スケール表示にタッチする



2 表示したいダイレクトスケールキーにタッチする



選んだスケールで表示されます。

ビュー切り替えメニューを表示させる

ビュー切り替えメニューでは、ビューモード（表示方法）の切り替えや、マップアイコンライザーの設定が行えます。

1 ビューにタッチする



- ・リモコンの「**ビュー**」を押して、ビュー切り替えメニューを表示させることができます。

ビューモードを切り替える

1 表示方法を選んでタッチする



- ・ビュー切り替えメニューが表示されている間（約8秒間）に選んでください。
- ・ドライバーズビューを選択しているときは、ソリッドシティマップ収録エリア走行中は自動的にソリッドシティマップになります。
- ・ハイウェイモードは、有料道路走行時以外は選ぶことができません。
- ・ユニバーサルパッドを操作して、表示方法を選ぶこともできます。

地図の表示方法は、5種類あります。

ノーマルビュー (2D表示)	通常の地図（平面の地図）で表示されます。
スカイビュー (3D表示)	上空から見ているような地図が表示されます。
ドライバーズビュー (3D表示)	ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。
ツインビュー (2画面表示)	画面を左右に2分割して地図が表示されます。
ハイウェイモード	有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

→各表示方法について、詳しくは『ナビゲーションブック』をご覧ください。

マップイコライザーを設定する

地図に表示される情報のうち、特定の情報を強調して表示することができます。各地図表示モードでお好みに応じて設定できます。

1 お好みの設定にタッチする



- ビュー切り替えメニューが表示されている間（約8秒間）に選んでください。
- ユニバーサルパッドを操作してマップイコライザーのモードを選ぶこともできます。

マップイコライザーのモードは、4種類あります。

文字拡大	文字の情報を拡大表示します。
道路重視	道路に関する情報を強調します。
住所重視	住所に関する情報を強調します。
施設重視	施設情報（施設名、マークなど）に関する情報を強調します。



- **通常表示**にタッチすると、マップイコライザーを解除し、通常の地図表示にします。

→各モードについて、詳しくは『ナビゲーションブック』をご覧ください。

メニュー操作の基本

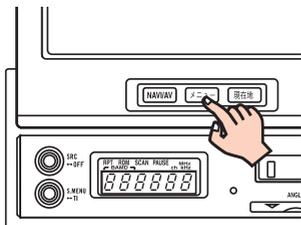
1 スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用するときは、**メニュー**を押してスタートメニューを表示させます。スタートメニューは、以下の3つに分類されています。

行き先・場所	行き先を探してルートを探索したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。
情報・通信	ドライブに役立つVICS情報や、通信機能を使った各種情報を利用することができます。
編集・設定	ルートなどの編集や、お好みに応じた設定を行うことができます。

→各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』をご覧ください。

1 地図画面で **メニュー** を押す



2 メニューのタブにタッチする



・行き先・場所メニューは2ページあります。**次ページ>>** / **<<前ページ** にタッチして表示を切り替えます。

3 メニュー項目を選んでタッチする



・リモコンの**メニュー**を押してスタートメニューを表示し、ユニバーサルパッドを操作してメニュー項目を選ぶこともできます。

ショートカットメニューを表示させる

利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして割り当てられています。ショートカットメニューを使うと、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

1 (ショートカット) にタッチする



その場所に対するショートカットメニューが表示されます。

現在地画面からのショートカットメニュー



スクロール画面からのショートカットメニュー

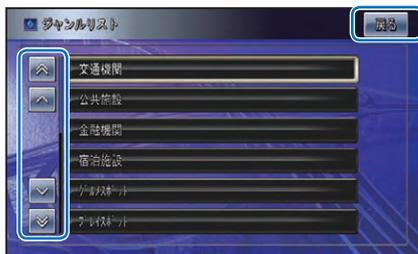


- ・リモコンの**決定**を押して表示させることもできます。
- ・ショートカットメニューは現在地画面とスクロール画面でメニュー内容が異なります。
- ・ショートカットメニューの表示を解除するときは、**戻る**または**↓**にタッチするか、リモコンの**戻る**を押します。

→ショートカットメニューの内容は『ナビゲーションブック』をご覧ください。

リスト操作

左横のキーにタッチすることで、カーソルを移動したり、リストをスクロールさせることができます。



ナビゲーション

カーソル送り	▲/▼にタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作する
ページ送り	⏪/⏩にタッチするか、リモコンの 別ルート / 渋滞 を押す
1つ前の画面に戻す	戻る にタッチするか、リモコンの 戻る を押す



- ・ナビゲーションのリスト画面では、右側に地図が表示されるものがあります（サイドマップ）。→サイドマップの操作については、『ナビゲーションブック』をご覧ください。

タブ操作

50音タブ付きリスト

地名やオーディオのリストなどでは、タブにタッチすることで画面表示を切り替えることができます。行送りの場合は、「あ行」から「か行」、「さ行」のようにリスト表示を切り替えることができます。



行送り (あかさたな)	タブに直接タッチするか、ユニバーサルパッドを左右に操作する あ→か→さ→・・・
音送り (あいうえお)	同じタブに数回タッチするか、リモコンの10キーを押す あタブ→「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」 [10]あ→「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」

サイドメニュー

項目を複数選択できるチェックタイプリストなどでは、サイドメニューを持つものがあります。サイドメニューを表示して、「全選択」「全解除」したり、リスト項目を並べ替えることができます。



サイドメニューを開く ▶ にタッチするか、ユニバーサルパッドを右に操作する



サイドメニューを閉じる ◀ にタッチするか、ユニバーサルパッドを左に操作する

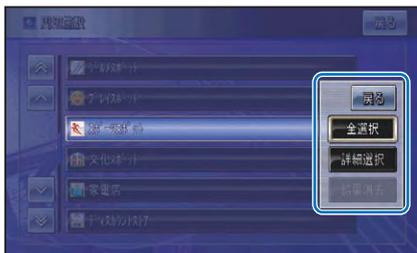
メニュー項目の選択 項目にタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す



- チェックタイプリストでは、項目を選択すると、チェックマークが表示されます。

ポップアップメニュー

リストの項目を選択するとポップアップメニューが表示されるものがあります。ポップアップメニューを表示して、機能を選択することができます。



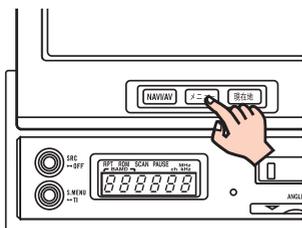
メニュー項目の選択 項目にタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきます。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを探索できるようになります。

1 自宅に車を停める

2 地図画面で **メニュー** を押す



3 自宅にタッチする



4 はいにタッチする



自宅が登録されます。

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。



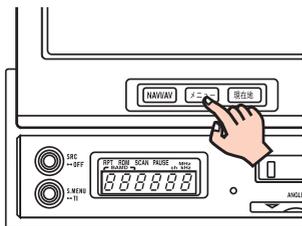
- リモコンの**自宅**を押して登録することもできます。
- すでに自宅が登録されているときは、自宅を消去してから操作してください。→『ナビゲーションブック』
- 地図画面上で自転車マークが自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→「地図の動かし方」(P33)
- 自宅の登録後に**自宅**にタッチするか、リモコンの**自宅**を押すと、自宅までのルート探索が始まります。

ルート

ルートを探索する

行き先を地図上で探して簡単にルートを設定することができます（ルート探索）。

1 地図画面で「メニュー」を押す



2 お好みの方法で行き先を探す



ショートカットメニューが表示されます。



- ・「次ページ>>」にタッチすると、次のページが表示されます。
- ・地図をスクロールさせて行き先を探することもできます。→『ナビゲーションブック』

3 ここへ行くにタッチする



4 案内開始にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。





- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。
- リモコンの**メニュー**を押してスタートメニューを表示し、ユニバーサルパッドを操作してルートを設定することもできます。

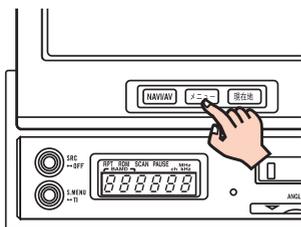


- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

自宅へ帰る

自宅が登録されている場合は、簡単に自宅に帰るルートを設定することができます。

1 地図画面で **メニュー** を押す



2 自宅にタッチする



自宅に帰るルートが探索されます。



- 案内中のルートがあるときは、確認メッセージが表示されます。

3 案内開始にタッチするか、走行を開始する



自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。



- 実際の道路標識に従って走行してください。



- リモコンの**自宅**を押して、自宅に帰るルートを設定することもできます。

ルート案内中の画面

到着予想時刻表示

目的地または立寄地までの進捗度がインジケータで表示されます。タッチすることにより、表示内容を切り替えます。

-  : 目的地までの道のり距離と到着予想時刻を表示
-  : 立寄地までの道のり距離と到着予想時刻を表示(立寄地を指定した場合)
-  : 出発してからの経過時間を表示

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称と通過予想時刻が表示されます。矢印にタッチすることにより、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。(→P46)

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色(推奨レーンは白矢印)で表示されます。

方面看板表示



目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線が表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面

交差点案内画面

交差点に近づくると交差点案内画面に変わります。

ドライバーズビュー



ランドマーク

信号や目印になるお店などが表示されます。

ウィンドウマップ

ノーマルビューの地図が表示されます。

オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



新ルート	新ルートで案内します。
元ルート	元ルートで案内します。



- 音声認識コントローラーの**発話**（新ルート）または**訂正**（元ルート）でも操作できます。

ルート案内中の操作

次の案内地を確認する (ルートインフォメーション)

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



- 手順 1 の操作を繰り返すことに、最大 5 か所先の案内地まで順に表示させる事ができます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報は自動的に音声で案内します（渋滞オートガイド）。



- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ 3km 先、1km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”などと案内されます。

手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を確認することができます（渋滞チェック）。

1 現在地画面で渋滞にタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



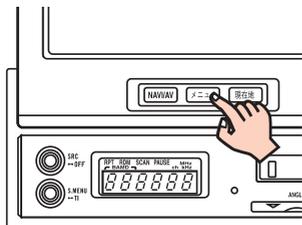


- 手順 1 の操作を繰り返すごとに、5 力所先の渋滞場所まで順に案内させる事ができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞**に長くタッチすると、オンデマンド VICS 機能で情報を取得することができます。→『ナビゲーションブック』
- リモコンの**渋滞**を押して、渋滞情報を案内させることもできます。

ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

1 地図画面で **メニュー** を押す



2 ルート消去にタッチする



3 **はい** にタッチする



案内中のルートが消去されます。



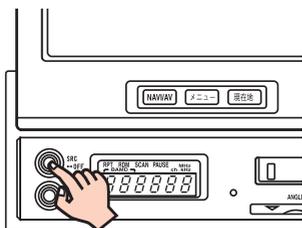
- ショートカットメニュー (→ P39) の **ルートを編集する**、または [編集・設定] メニュー (→ P38) の **ルート編集** から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

音楽や映像を楽しむ

CD、ミュージックサーバー、DVD などの音源や映像のことをソースと呼びます。次の手順で希望のソースに切り替えて操作します。

ソースを ON にする / ソースを切り替える

1 SRC/OFF を押す



ソースが ON になり、押すごとにソースが次のように切り替わります。

挿入したディスク
(CD/ROM (WMA・MP3・AAC)
/DVD/DivX)

↓
MSV (ミュージックサーバー)

↓
MD (AVIC-VH099MD/
VH099MDG)

↓
FM

↓
AM

↓
TV^{※1}

↓
DTV (地上デジタル TV)^{※1}

↓
ワンセグ^{※1}



iPod^{※1}



M-CD^{※1}



VTR^{※2}



AUX1



AUX2^{※2}



EXT1^{※1}



EXT2^{※1}



元に戻る

※1：機器が接続されると切り替わります。

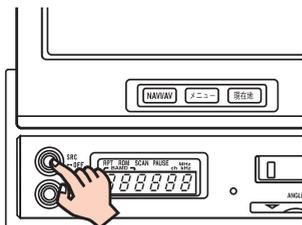
※2：AV 入力設定(→『オーディオブック』)で ON に設定すると切り替わります。



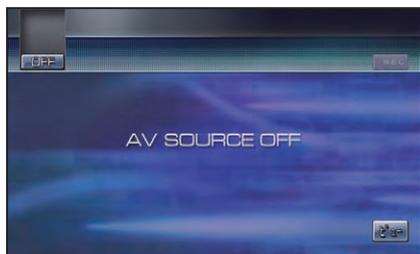
- リモコンの **[SOURCE]** を押して、ソースを切り替えることもできます。
- 交通情報への切り替えは、**[S.MENU]** を長く押すか、AVソース選択画面(→P50)から行います。

ソースを OFF にする

1 SRC/OFF を 1 秒以上押す



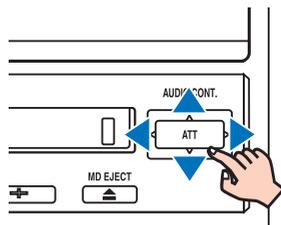
ソースが OFF になります。



- リモコンの **[SOURCE]** を 1 秒以上押して、ソースを OFF にすることもできます。

ソースを操作する

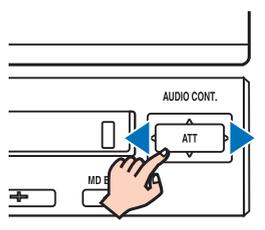
1 オーディオコントローラーを上 / 下 / 左 / 右に倒す



選曲・選局操作、リストでの操作など、各ソースごとに、割り当てられた操作を行うことができます。

- リモコンの **[◀/▶/▲/▼]** を押して操作することもできます。

1 オーディオコントローラーを左 / 右に長く倒す



ラジオの自動選曲 (SEEK) や、ディスクや MSV の早送り / 早戻しなどの操作を行うことができます。

AV ソース選択画面で ソースを切り替える

AV ソース選択画面を表示して、ソースを直接選ぶことができます。

1 AV ソース画面で「ソース名」にタッチする

ソース名



- ・ [S.MENU] を押しても AV ソース選択画面を表示することができます。

2 お好みのソースにタッチする



選んだソースに切り替わります。



- ・ 接続していない機器は、操作できません。
- ・ **OFF** にタッチすると、ソースを OFF にすることができます。
- ・ ユニバーサルパッドを操作して、ソースを選ぶこともできます。

AV ソースの基本的な操作のしかた

ここでは CD の基本的な操作方法を例に説明します。詳しい AV ソースの操作方法については、『オーディオブック』をご覧ください。

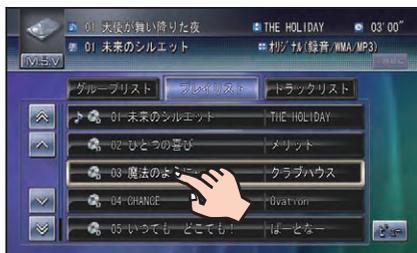
1 ディスクを挿入する (→ P26)

自動的に再生が始まります。



- ・ すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→前記)
- ・ ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

2 操作画面のリストから、聴きたい曲にタッチする



選んだ曲を再生します。



- ・ リモコンで行える操作もあります。詳しくは『オーディオブック』をご覧ください。

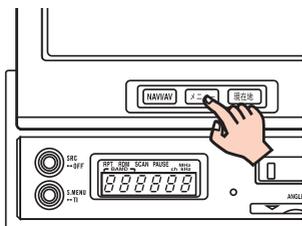
AVメニューを表示させる

AVメニューとは、オーディオや映像に関する設定や各機能の操作を行うためのメニューです。



- リモコンの**メニュー**を押してAVメニューを表示し、ユニバーサルパッドを操作して項目を選ぶこともできます。
- メニューを閉じるには、**戻る**にタッチするか、リモコンの**戻る**を押します。

1 AVソース画面で**メニュー**を押す



2 項目を選ぶ



ソースメニュー

※ソースメニューの内容は、ソースごとに異なります。詳しくは、『オーディオブック』をご覧ください。

AV 初期設定

オーディオ設定	オーディオ設定画面を表示する
システム設定	システム設定画面を表示する
スケジューラー	スケジューラー画面を表示する

MSV(ミュージックサーバー)について

CDなどを本機のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生することができる機能です。ミュージックサーバーには約240枚*のCDを録音できます。詳しくは『オーディオブック』をご覧ください。

*ミュージックサーバーに録音できる枚数は、録音するCDによって異なりますので、目安としてお考えください。

MSVのおもな機能

録音	CDを挿入すると自動的に4倍速で録音が始まります。またテレビ、ラジオなどを手動でアナログ録音することもできます。
再生	録音された音声を、ヒットチャートプレイやフィーリングプレイなど、いろいろな方法で再生することができます。
編集	録音された音声について、曲名などの情報を編集したり、再生順やプレイリスト(曲の再生単位)などを編集することができます。

MSVに録音する

未録音のCDを挿入すると、自動的に4倍速でMSVに録音されます(オートモード時)。



- 録音中は選曲操作などができません。通常のCD再生操作を行いたいときは、**REC**(録音停止)にタッチするか、リモコンの(削除)を押して、録音を中止してから操作してください。
- 録音モードは、オートモードのほかに、手動で録音するマニュアルモード、CDの先頭の1曲だけを録音するシングルモードがあります。
- すでに録音済みのCDは録音されません。
- 録音モードがオートの場合で、未録音の曲が含まれている場合は、未録音の曲のみ自動で録音します。
- TV、AM、FM、TI(交通情報)、M-CD(マルチCD)、AUX1、AUX2、MD(AVIC-VH099MDG/VH099MDのみ)は手動でアナログ録音することができます。
- 録音できるソースや、録音モードなどについて詳しくは『オーディオブック』をご覧ください。

取扱上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P63)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間が経つと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、液晶画面内部に小型蛍光管を使用しています。

- 蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります)。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、付属のクリーニングクロスで拭き拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- むれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。

DVD ビデオ



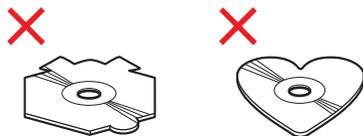
CD



- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



● 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては『オーディオブック』をご覧ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

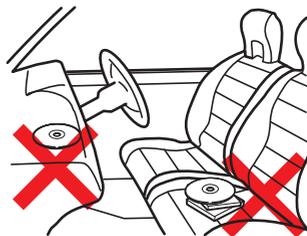


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

ブレインユニットの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ブレインユニットはご購入いただきました製品本体以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

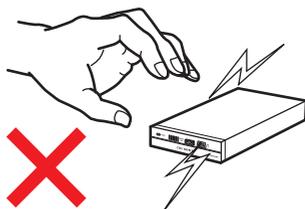
HDD AVナビオートサーバー（または
HDDナビゲーションオートサーバー）



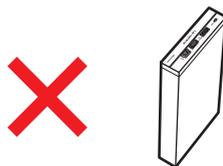
ブレインユニット



- ブレインユニットはキャリングケースに入れ車の中にお持ち込みください。ブレインユニットをキャリングケースから取り出して持ち歩くと、思わぬ衝撃や静電気などにより破損することがあります。
- ブレインユニット後面の端子部には触れないでください。端子部に触れると静電気により破損することがあります。



- ブレインユニットを立てて置かないでください。ブレインユニットは、立てた状態から倒れただけの衝撃でも、破損することがあります。



- ブレインユニットの上下に物を置かないでください。ブレインユニットに衝撃や重みなどが加わり、破損することがあります。



- ブレインユニットを落とさないでください。ブレインユニットは、シートやクッションなどの柔らかい物の上に落ととしても、破損することがあります。



- めれた手でブレインユニットに触れないでください。破損することがあります。

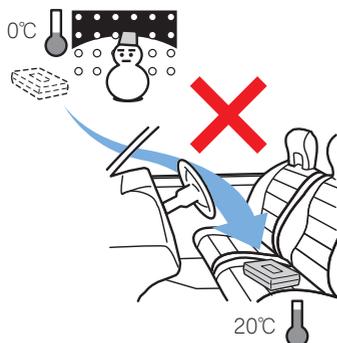


保管上のご注意

- ブレインユニットを次のような場所に置かないでください。(破損の原因となります)
 - * 直射日光の当たる所 (ダッシュボードなど)
 - * 外気が直接当たる所 (屋外など)
 - * 湿気が多い所や少ない所 (浴室や乾燥室など)
 - * 極端に暑い所や寒い所 (保温庫や冷蔵庫の中など)
 - * 固有の振動が継続する所 (冷蔵庫の上など)
 - * チリやホコリの多い所 (床など)
 - * 油煙、蒸気、熱が当たる所 (台所など)
 - * 水のかかる場所 (屋外など)
 - * 熱風や冷風が当たる所 (エアコンの吹出口など)
 - * 磁気のある所 (磁石の近くやテレビの上など)

動作環境について

- 寒いときなどに、ヒーターの入った車内にブレインユニットを持ち込みますと、ブレインユニットの内部に露が生じて正常に動作できない可能性があります。また故障の原因ともなりますので、このような環境下では、ブレインユニットをすぐにキャリングケースから取り出さずに、車内の温度に慣らしてから取り出してください。



B-CAS カードの正しい使いかた

B-CAS カードの取り扱いについて

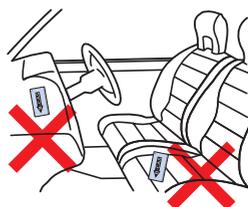
B-CAS カードは必要なとき以外は抜かないでください。

— 必要がないのに抜き差しすると故障の原因になります。

— B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないように注意してください。

— 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意してください。

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、B-CAS カードを保管しないでください。



- 磁石の近くやテレビの上など、磁気のあるところに置いたままにしないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは本機をリセットしてください。それでも直らないときは「保証書とアフターサービス」(→P 62)をお読みになり修理を依頼してください。(『ナビゲーションブック』、『オーディオブック』の「故障かな？と思ったら」もご覧ください。)

共通項目

電源が入らない、動作しない

原因	処置
ブレインユニットが入っていない。	ブレインユニットを正しく入れてください。→「ブレインユニットの入れかた」(P24)
ブレインユニット取り出しボタンが飛び出している。	ブレインユニット取り出しボタンが飛び出していないことを確認してから、ブレインユニットを差し込んでください。→「ブレインユニットの入れかた」(P24)
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。→「リセットについて」(P13)
メモリーデバイスを認識しない。	車のエンジンスイッチ (ACC) を OFF/ON してください。

リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作をしない

原因	処置
電池の (+) と (-) の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 →「リモコンの使いかた」(P21)
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。 →「リモコンの使いかた」(P21)
電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 →「リモコンの使いかた」(P21)

付録

エンジンスイッチを ON または ACC にすると、モーター音がる

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
パーキングブレーキをかけていない。	スタンバイ状態を解除してください。 →「スタンバイ機能について」(P28)

音が出ない

原因	処置
音量が0になっている。	音量を上げてください。
接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』

ナビのガイド音声やハンズフリーの音量を調整できない

原因	処置
本機の音量ボタンを操作している。	ナビの案内音量、操作音量、受話音量、着信音量の調整は、ナビのメニューで調整します。 →『ナビゲーションブック』

液晶画面が暗い

原因	処置
「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。→『オーディオブック』
車内の温度が低い。	液晶画面は、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合があります。ヒーターで車内の温度を上げてください。

ナビゲーション

自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPS アンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPS アンテナの上には何も置かないでください。ワイパーなど、電波をさえぎる物があるときは、GPS アンテナの位置を変えてください。
GPS 受信感度が低い。	GPS アンテナの感度を確認して、GPS アンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。→『取付説明書』
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 →『取付説明書』

DVD

再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『ディスクの正しい使いかた』(P54)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。→『オーディオブック』
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。本機のリージョン番号は「2」です。

CD、ROM(WMA/MP3/AAC/DivX)

再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『ディスクの正しい使いかた』(P54)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』

DTV

ソースがDTVに切り替わらない

原因	処置
地上デジタルTVチューナーのモードスイッチが、「STAND ALONE」になっている。(GEX-P09DTV/P07DTV/P7DTV)	地上デジタルTVチューナーのモードスイッチを「IP SOURCE」に切り替えてください。→『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』 ※「GEX-P09DTV/P07DTV」をお使いの場合は、「IP SOURCE (OSD OFF)」に切り替えます。
地上デジタルTVチューナーにIP-BUSケーブルが接続されていない。	IP-BUSケーブル、電源コードの接続を確認してください。 →『取付説明書』
地上デジタルTVチューナーの電源コードが接続されていない。	
地上デジタルTVチューナーのヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
ノイズなどが原因で地上デジタルTVチューナーのマイコンが誤動作している。	地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押してください。(→P15) または『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』それでも解決しない場合は、車のバッテリーを一度外してください。

画面全部が単色になり、映像が表示されない

原因	処置
コンポーネントケーブルが接続されていない。	コンポーネントケーブルの接続を確認してください。→『取付説明書』

音が出ない

原因	処置
地上デジタル TV チューナーの IP-BUS ケーブルの接続先 (IP-BUS IN と OUT) が間違っている。	IP-BUS ケーブルの接続先を確認してください。IP-BUS ケーブルは、同じ色どうしを接続してください。→『取付説明書』

受信できない

「受信できません」というメッセージが表示される
「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される

原因	処置
チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、地上デジタル TV チューナーのリセットボタンを押したとき (→ P15)、「視聴者設定クリア」→『オーディオブック』をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→『はじめてお使いになるときの準備』(P14)
車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタル TV 用アンテナを使用してください。

ワンセグ

ソースがワンセグに切り替わらない

原因	処置
ワンセグチューナーに IP-BUS ケーブルが接続されていない。ワンセグチューナーの電源コードが接続されていない。	IP-BUS ケーブル、電源コードの接続を確認してください。→『取付説明書』
ワンセグチューナーのヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
ノイズなどが原因でワンセグチューナーのマイコンが誤動作している。	ワンセグチューナーのリセットボタンを押してください。→『ワンセグチューナーの取扱説明書』それでも解決しない場合は、車のバッテリーを一度外してください。

ワンセグ放送の映像が表示されない

原因	処置
映像ケーブルが接続されていない。	映像ケーブルの接続を確認してください。→『取付説明書』

音が出ない

原因	処置
ワンセグチューナーの IP-BUS ケーブルの接続先 (IP-BUS IN と OUT) が間違っている。	IP-BUS ケーブルの接続先を確認してください。IP-BUS ケーブルは、同じ色どうしを接続してください。→『取付説明書』

受信できない
「受信できません」というメッセージが表示される

原因	処置
チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、ワンセグチューナーのリセットボタンを押したときは、チャンネルスキャンをしてください。→『オーディオブック』
車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタル TV 用アンテナを使用してください。

TV

自動選局できない

原因	処置
強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →『オーディオブック』

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

最大消費電流：

AVIC-VH099MDG/VH099G：12A

AVIC-VH099MD/VH099：10A

使用電圧：DC14.4V(10.8～15.1V 使用可能)

◆GPS 部

受信方式：

12チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆オーディオ部

最大出力：50W × 4

負荷インピーダンス：4Ω(4～8Ω 使用可能)

プリアウト最大出力レベル：5.0V/100Ω

13バンドグラフィックイコライザー(2チャンネル時)：

周波数：50/80/125/200/315/
500/800/1.25k/2k/3.15k/
5k/8k/12.5k[Hz]

調整幅：±12dB(2dB/step)

Q：5.0

3バンドパラメトリックイコライザー(マルチチャンネル時)：

周波数：40/50/63/80/100/125/
160/200/250/315/400/
500/630/800/1K/1.25k/
1.6k/2k/2.5k/3.15k/4k/5k/
6.3k/8k/10k/12.5k[Hz]

調整幅：±12dB(2dB/step)

Q：1.2/3.6

スピーカーセッティング：

調整幅：-24dB～+10dB(1dB/step)

カットオフ周波数：

50/63/80/100/125/160/200[Hz]

スロープ：

(フロント、センター、リア)：

-6/-12/-18dB/oct.(LARGE 設定時はスルー)

(サブウーファー)：

0/-6/-12/-18dB/oct.(0はスルー)

サブウーファー位相：

NORMAL/REVERSE

タイムアライメント：0～500cm

(2.5cm/step)

デコーダー：リニアPCM、

ドルビーデジタル、

ドルビープロロジックⅡ、

DTS、DTS-CD、

DTS 96/24、

DTS Neo：6、

MPEG-2 AAC

◆DVD プレーヤー部

リージョン No.：2

対応メディア：

DVD-VIDEO、DVD-R/RW、CD-DA、
DTS-CD、CD-ROM、CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

DivX：HomeTheater

Ver.3、Ver.4、Ver.5

WMA：Windows Media Audio

Ver.7 & 8 & 9

MP3：MPEG-1 & 2 & 2.5

AUDIO LAYER-3

AAC：iTunes Ver.4.6

周波数特性：

DVD：16～22 000Hz(±1dB)

CD：20～20 000Hz(+0.1/-0.4dB)

S/N：

DVD：102dB(1kHz)(IHF-A ネットワーク)

CD：101dB(1kHz)(IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ：

DVD：99dB(1kHz)

CD：98dB(1kHz)

高調波歪率：0.008%(1kHz)

◆地上デジタル TV チューナー部

(AVIC-VH099MDG/VH099G)

放送方式：地上デジタル放送方式(日本)

受信チャンネル：470MHz～770MHz
(UHF13～62ch)

アンテナ入力：50Ω

◆MD 部 (AVIC-VH099MDG/ VH099MD)

再生方式：ATRAC (SP)、

ATRAC3 (LP2、LP4)

◆FM チューナー部

受信周波数帯域：76.1～89.9MHz

音声：ステレオ

◆AM チューナー部

受信周波数帯域：522～1 629kHz

音声：モノラル

◆モニター部

画面サイズ：7.0型ワイド

画素数：1 152 000 画素

[水平 800 × 垂直 480 × 3 (RGB)]

方式：TFT アクティブマトリクス方式

使用温度範囲：-10～+50℃

保存温度範囲：-20～+80℃

◆ FM 多重用フィルムアンテナ

使用電源：DC8V

出力端子：JASO プラグ×1

◆ 地上デジタル TV 用フィルムアンテナ

使用電源：DC8V

出力端子：専用プラグ × 4

◆ リビングキット

使用電圧：12V

最大消費電流：1.5A

AC アダプター：AC100V 50/60Hz

◆ 外形寸法

モニター部取付寸法：

178 (W) × 50 (H) × 166 (D) mm

ナビゲーション部取付寸法：

178 (W) × 50 (H) × 161 (D) mm

モニター部ノーズ寸法：

171 (W) × 46 (H) × 24 (D) mm

ナビゲーション部ノーズ寸法：

170 (W) × 46 (H) × 25 (D)

ハイダウエイユニット：

140 (W) × 30 (H) × 80 (D) mm

リモコン：

40 (W) × 157 (H) × 30 (D) mm

ステアリングリモコン：

38 (W) × 67 (H) × 18 (D) mm

GPS アンテナ：

33 (W) × 36 (H) × 14 (D) mm

FM 多重用フィルムアンテナ：

362 (W) × 105 (H) × 0.4 (D) mm
(セパレータ含む)

リビングキット：

180 (W) × 204 (H) × 37 (D) mm

リビングキット用リモコン：

48 (W) × 107 (H) × 10 (D) mm

◆ 外形寸法 (AVIC-VH099MDG/
VH099G)

地上デジタル TV チューナー：

240 (W) × 30 (H) × 185 (D) mm

地上デジタル TV 用フィルムアンテナ：

フロント用：95 (W) × 35 (H) × 0.4 (D) mm
リア用：210 (W) × 26 (H) × 0.4 (D) mm

◆ 質量

モニター部：2 100g

ナビゲーション部：1 820g

(ブレインユニット含む)

ハイダウエイユニット：300g

リビングキット：1 260g (ACアダプター含む)

◆ 質量 (AVIC-VH099MDG/VH099G)

地上デジタル TV チューナー部：1 300g

◆ 付属品

GPS アンテナ：1

FM 多重用フィルムアンテナ：1 式

フィルムアンテナ用電源ユニット：1

リモコン：1

単 4 形アルカリ乾電池 (LR03)：2

ステアリングリモコン：1

リチウム電池 (CR2032)：1

リビングキット：1

リビングキット用リモコン：1

リチウム電池 (CR2025)：1

音声認識用マイク：1

音響特性測定用マイク：1

タッチパネル用調整用ペン：1

クリーニングクロス：1

取付キット：一式^{*1}

コード類：一式^{*1}

スタートブック：1

オーディオブック：1

ナビゲーションブック：1

リビングキット取扱説明書：1

取付説明書：1

BeatJam 2007 for carrozzeria 付属冊子：1

BeatJam 2007 for carrozzeria インストール

用 CD-ROM：1

エニーミュージックサービス利用ガイド：1

安全上のご注意：1

サービス窓口のご案内：1

VICS サービス契約約款：1

保証書：1

お客様登録カード：1

※ 1 取付キットおよびコード類の詳細につ
きましては、『取付説明書』をご覧ください。

◆ 付属品 (AVIC-VH099MDG/
VH099G)

地上デジタル TV チューナー：1

地上デジタル TV 用フィルムアンテナ：1 式

取付キット：1 式

電源コード：1

26 ピンコンポーネントケーブル (3m)：1

IP-BUS ケーブル (3m)：1

B-CAS カード：1

取付説明書：1

◆その他、商標・著作権等

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。
認証番号：A04-0217001
- ドルビーラボトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボトリーズの商標です。



- “DTS” および “DTS Digital Surround” および “DTS Neo:6” は、DTS, Inc. の登録商標です。“DTS 96/24” は、DTS, Inc. の商標です。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- DivX® Certified 製品
- DivX、DivX.Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。



- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- MP3 とは MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送* で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送* で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- iPod および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple, Inc. の商標です。
- Gracenote® および CDDB はグレースノート社の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはグレースノート社の商標です。



※ Gracenote の概要、特許及び商標、エンドユーザー使用許諾書については「オーディオブック」に記載されています。

- FOMA/ フォーマは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
- cdmaOne は CDG (CDMA Development Group) の登録商標です。
-  は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
-  は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- 「マップクリップ」はインクリメント P (株) の登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

- 「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

BeatJam[®]

- 「エニーミュージック」はエニーミュージック株式会社の登録商標です。



- “ATRAC”はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ナビゲーション部のインターネット機能は株式会社 ACCESS の NetFront を搭載しています。
Copyright©1996-2001 ACCESS CO.,LTD

株式会社 ACCESS NetFront[®]

- 地上デジタル TV チューナー部には、インターネット機能として株式会社 ACCESS の NetFront DTV Profile を搭載していません。

NetFront[®] DTV Profile

- NetFront は、株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音（録画）したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。

- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】**03-5496-8016** FAX：**03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9：30～12：00、13：00～17：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-817-088**

カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続に関するご相談窓口

パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-702-383** 【一般電話】**03-3495-9963**

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-5-81028** 【一般電話】**03-5496-2023** FAX：☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限りませ

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】**098-879-1910** FAX：**098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-5-81095** 【一般電話】**0538-43-1161** FAX：☎ **0120-5-81096**

この説明書は、再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2007

< KAMFF > < 07C00000 > < CRA4025-A >